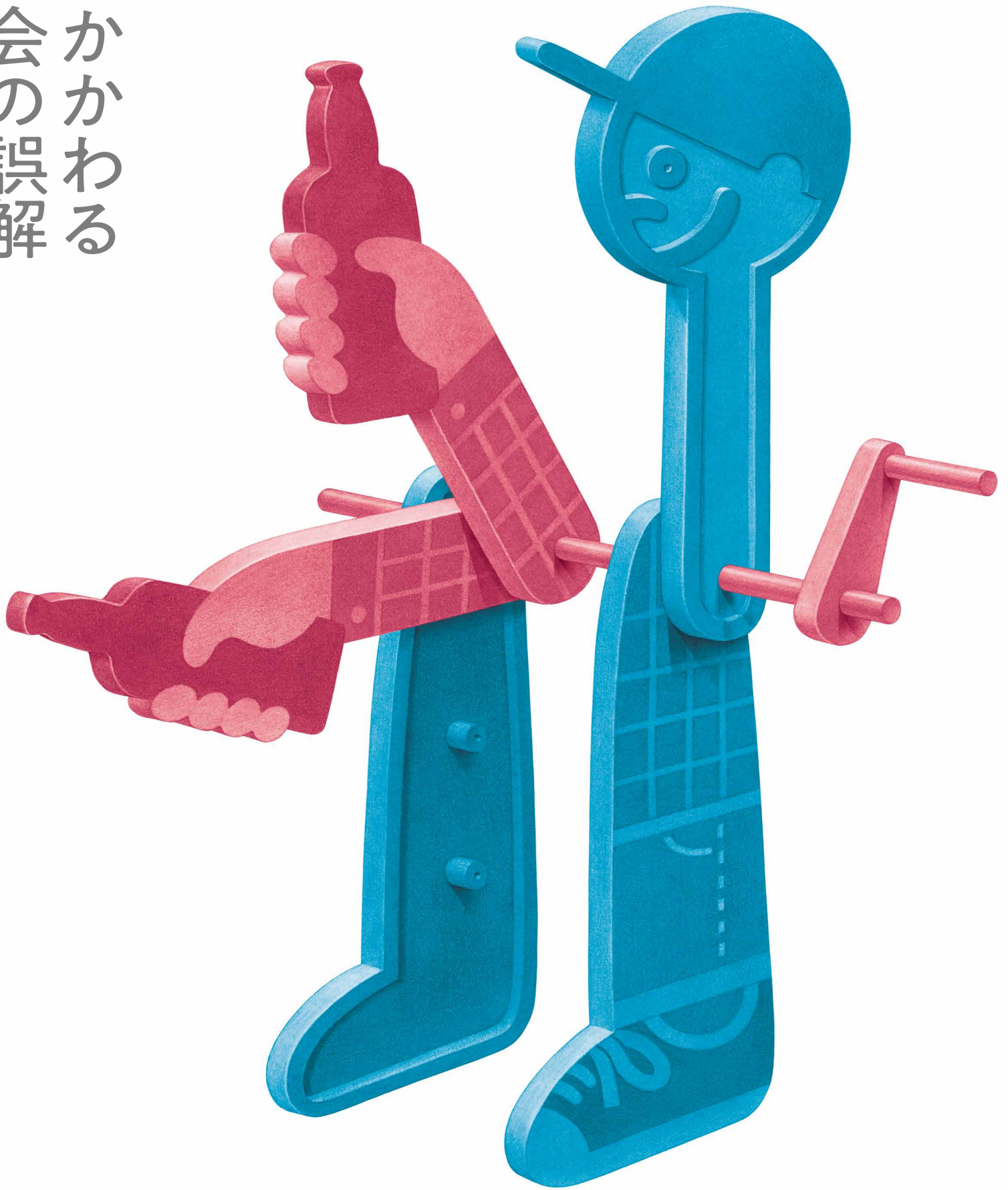


命にかかわる 飲み会の誤解



飲み会にはたくさんの誤解があります。「無理やり飲ませてない」誤解。「そんなに酔ってると思わなかった」誤解。「吐けば大丈夫」誤解。これはすべて、命に関わる誤解です。ゲームや集団のしきたりで、短い時間で大量に飲ませて、吐かせて放置して、死なせてしまうことがあるのです。命を玩具にしないよう、誤解を正解に。この機会に学びましょう。

飲み会の誤解、を正解に。

飲み会にはたくさんの誤解があります。

「無理やり飲ませてない」誤解。「そんなに酔ってると思わなかった」誤解。「吐けば大丈夫」誤解。

その誤解を正解に変換してください。オンライン飲み会の場合でも、誤解したままだと危険な場合もあります。

「無理やり飲ませてない」誤解

正解 「飲まざるを得ない空気」にしない

場を盛り上げるためや、伝統やしきたり、罰ゲームで飲まなきゃいけないことがある。その場にアルコールしかないこともある。いわゆる「飲まざるを得ない空気」があることも飲酒の強要です。空気を読んで、自ら飲んで亡くなってしまった人もいます。これまでの飲み会を振り返って、断れない状況をつくっていないか考えてみましょう。

「そんなに酔ってると思わなかった」誤解

正解 「酔いは遅れてやってくる」

アルコールが脳に達するまで30分から1時間かかると言われています。短時間に大量に飲酒すると、飲んだ直後はそんなに酔っているように見えません。急に酔いが回って事故に遭ってしまったり、ただ眠っているだけだと思っていたら、実は昏睡状態だった。放置されて、吐いたものが喉に詰まって亡くなってしまうこともあります。オンライン飲み会の場合でも、知らず知らずのうちに大量に飲んでしまうことも考えられます。今、大丈夫でも、あとから酔いがやってきます。

「吐けば大丈夫」誤解

正解 「吐く行為には危険がともなう」

酒は吐いて強くなる、と間違った思い込みの人がいます。吐くのは危険なことです。胃液で喉に炎症を起こしたり、吐く勢いで胃の粘膜が破れて吐血したりします。さらに、意識がないのに無理やり吐かせようとして抱き起こし、吐瀉物が喉に詰まって窒息死した例もあります。吐かせれば良い、という考えは捨ててください。吐く人が出ない飲み会を！

「酔い」のメカニズム4段階

1 ほろ酔い（気持ちがおぼれる）

大脳新皮質がマヒ。いい気分でも油断禁物！

3 泥酔（酔いつぶれる）

脳全体がマヒし脳幹、脊髄にも及ぶ。

2 酩酊（足元がふらつく）

大脳辺縁系にマヒが及ぶ。もう飲むのはストップ！

4 昏睡 → 死（何をしても起きない）

マヒが脳幹・脊髄・呼吸中枢のある延髄に至る

- ・2の段階の人が出たら、飲み会は終了し、酔っている人は一人にせずに送り届けよう。
- ・3と4の段階は、急性アルコール中毒。
- ・4は、一刻も早く救急車を呼ぶ必要があります。酔いつぶれた人には「適切な介抱」が必要！



酔いつぶれた人の命を救うチャンスがあります。
詳しくはサイトで。イッキ飲ませ、アルハラの情報も。

イッキは命にかかわる飲ませ方です。



イッキ飲み防止連絡協議会 後援：文部科学省 / 厚生労働省 / アル法ネット

協力：全国大学生生活協同組合連合会 協賛：ビール酒造組合 / 日本酒造組合中央会 / 日本蒸留酒酒造組合 / 日本洋酒酒造組合 / 全国小売酒販組合中央会 / 日本洋酒輸入協会 / 株式会社ユーキャンパス

デザイン協力：サントリーホールディングス株式会社 / 株式会社 サン・アド